

一般質問事項一覧

6月3日（月）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／3日（月）	梅林（もえぎ会）	一括質問・答弁方式	1 安心して結婚・出産・子育てができ、全ての子どもたちが夢を持って笑顔で健やかに育つまち ○ 5月27日本会議の市長からの提案理由説明の中で、「（仮称）大野市子ども・若者計画」とのワードをいただいた。これは現行の第2期大野市子ども・子育て支援事業計画の期間終了に伴う、第3期計画だと認識をする。（仮称）とのことであるが、「大野市子ども・若者計画」とする根拠は何か。 ○ 全国的に保育士不足が大きな課題となっているが、本市の状況を伺う。 ○ 第2期大野市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しでは、教育・保育の質の向上に関して追加をしている。人材の質の向上に対してどのようなことを実践しているのか。 ○ 全国的に不適切な保育が報道されたことなどから、こども家庭庁は昨年5月に「保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン」を発表。本市においては、このガイドラインを踏まえ、防止及び発生時にどのような対応をしているのか。
			2 人口減少時代における污水处理について ○ 市内では地下水位の高い、泉町2区等の下水道整備工事が始まっているが、本年度のスケジュールを伺う。 ○ 大野市污水处理の適正化に向けて、農業集落排水事業の統合においての今後のスケジュールを伺う。 また、農業集落排水事業施設の統合に関して、計画通りに進めば総事業費としてどれくらいかかるのか。下水道の維持管理費は現在幾らで、統合後はどれくらいになるのか。 ○ 統合によって下水道管路が非常に長くなるが、災害時における対策についてどのように考えているのか。

令和6年6月 第439回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質 問 概 要
一般質問（第1日）／3日（月）	山崎（清風会）	一括質問・答弁方式	1 市長の政治姿勢について 2期目の折り返し時期に入れたと思うが、10年、20年先の故郷を見据えた観点から、以下の6点について質問する。 ○ 現在の財政状況を、どのように見ているのか伺う。 ○ 市長が行った機構改革は、着実に成果が上がるものになっているのか伺う。 ○ 職員のガバナンス体制・信頼関係の現況を伺う。 ○ 人口減少・少子化対策の現況を伺う。 ○ 中部縦貫自動車道を生かした観光戦略とは、どのようなものなのか伺う。 ○ 令和8年6月をめどに休館を決めている文化会館だが、現況と市長自身の方向性や思いを伺う。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／3日（月）	伊東（市議会）	一括質問・答弁方式	1 小中学生の読書活動の推進について 次代を担う子どもたちが豊かに育つため、本市では令和4年度から8年度の5年間を計画期間として第四次大野市子ども読書活動推進計画を策定し、「家庭をはじめ、子どもに関わる全ての機関において、子どもの読書活動を推進していきます」としている。 しかし、デジタル機器の普及により、小中学生の読書活動に少なからず影響が出始めているのではないかと考える。そこで、子どもたちの読書活動の現状と今後の推進について、4点にわたって質問する。 ○ 大野市図書館の利用者のうち、小中学生の利用人数と貸出冊数の推移を伺う。（コロナ禍以前の令和元年～令和5年） ○ 幅広い分野でのデジタル化が推進される中、子どもたちの活字離れが危惧されているが、小中学生の読書環境の整備と充実について、本市の見解を伺う。 ○ 大野市図書館と市内小中学校の学校図書館それぞれの役割と連携について伺う。 ○ 学校における読書環境の充実を図っていくために、本に対する適切な情報や読書方法を案内することができる学校司書の配置について、本市の考えを伺う。 2 防災行政について 自然災害が激甚化・頻発化する中、特に土砂災害警戒区域や浸水想定区域など被災リスクの高い地域に住む高齢者や障がい者は、災害時に自力での避難が困難であるため、避難支援や安否確認を行う人をあらかじめ決めておく必要がある。 逃げ遅れをなくし、スムーズな避難を行うには地域の防災力を高めることが重要と考える。 そこで、4点にわたって質問する。 ○ 避難行動要支援者の個別計画作成の進捗（しんちょく）について伺う。 ○ マイ・タイムライン作成の啓発・推進について、本市の取り組みと現状を伺う。 ○ 災害時の障がい者への支援として、災害バンダナを導入してはどうかと考えるが、本市の見解を伺う。 ○ 女性をはじめ多様な視点を取り入れた防災体制を確立する必要があると考えるが、本市の考えを伺う。 また、地域における女性の防災リーダーの育成についての見解を伺う。

令和6年6月 第439回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質 問 概 要
一般質問 (第1日) ／ 3日 (月)	野村(無会派)	一問一答方式	1 消防救急デジタル無線整備工事の入札について 本市は平成25年7月26日、県内事業者との間で、消防救急デジタル無線整備工事の工事請負仮契約を交わし、富士通ゼネラル製の消防救急デジタル無線を導入することとし、平成25年8月5日に締結した契約の一部を変更して着工し、工事が完了している。 一方、最高裁は本年3月21日に、富士通ゼネラルが公正取引委員会に対して行っていた消防救急デジタル無線の排除措置命令等取消請求訴訟の上告について、上告受理を棄却している。 これに関連して、次の点について問う。 ○ 消防救急デジタル無線整備工事に関連して、最高裁における富士通ゼネラルの上告受理棄却をどのように捉えているのか、その見解は。 ○ 消防救急デジタル無線整備工事に係る大野市工事契約約款第46条の2の内容と、今後の対応について説明を求める。
			2 学校給食無償化について 貧困家庭の増加など格差社会が広がる中で、子どもたちの権利を保障するには、地域や国が人権問題として責任を果たし、給食費無償化の施策を整える必要がある。 部活動に必要な道具や教材費など教育に係る負担が物価高により保護者に重くのしかかっており、小中学校の給食費を無償にする自治体が全国で491に広がっている。 給食費の無償化を国に求めるとともに、本市でも独自に無償化を行う必要があると考えるが、その見解は。

令和6年6月 第439回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／3日（月）	廣瀬（市政会）	一括質問・答弁方式	1 本市への観光客の増加に対応できるタクシーの確保に向けて 中部縦貫自動車道が、昨年、大野インターチェンジから九頭竜インターチェンジまで開通し、北陸新幹線は、3月16日に金沢・敦賀間が開業した。ゴールデンウィーク中には、県内に多くの観光客が訪れたというニュースが報じられた。 そこで、以下の3点について質問する。 ○ 本市への観光客は、昨年同時期と比べてどれくらい増えたのか。 ○ 宿泊された観光客が、夕食後出掛けようとしたとき、タクシーが動いていなくて困ったという話をよく聞く。タクシーの増加を目指し、当初予算で省エネタクシー車両導入の支援、タクシー事業者持続化を支援、二種免許取得を支援する予算を計上した。3月議会以降のタクシー事業者との協議状況及び反応はどうか。 ○ 先日の報道で、深刻化するタクシー業界の人材不足解消につなげるため、「日本版ライドシェア」の県内導入に向け、県内9市町で今夏から実証事業に乗り出すと報じられた。本市では、大野旅客自動車が実証事業に参加している。実証事業の具体的な内容の説明を。
			2 六呂師高原エリアの活用について 六呂師高原エリアの活用については、3月議会の市長の提案理由説明の中で、「六呂師高原エリアの活用については、新年度から民間主導によりオートキャンプ場などが整備される予定で、市としては県と協力しながら、各プロジェクトが着実に進むよう支援していく」と述べられた。 そして、当初予算の中で六呂師高原エリアに関するものとして、ファミリーリゾート休養施設管理運営経費、六呂師高原活性化事業、日本一の星空発信事業が計上された。この件について、以下の2点について質問する。 ○ それぞれの事業の現在までの進捗（しんちょく）状況はどうか。 ○ 今後、本市として六呂師高原エリアの活用をどのように進めていくのか。

一般質問事項一覧

6月4日（火）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／4日（火）	木戸屋（もえぎ会）	一問一答方式	1 おおのヘルスウォーキングプログラムについて 令和2年度に参加者200人からスタートした「おおのヘルスウォーキングプログラム」は年々参加者を増やし、令和5年度には約2,470人になったという報告があった。年々、ウォーキングをしている市民の姿が日常的に見られるようになった。本市では多くの市民にとって気軽に組み入れる健康づくりとして、ウォーキングが定着してきているのではないかと推察される。 「おおのヘルスウォーキングプログラム」事業が4年目を迎えた令和5年度には、この事業の取り組みの成果について分析と評価を行うとのことであった。 そこで、次の点について質問する。 ○ 本事業が、市民の健康増進に与えている成果は何か。根拠を明確にした説明を求める。 ○ 本事業を推進することによって、高齢者の医療費、介護給付費などへの影響についてはどう分析しているのか。 ○ 健康づくりのためのウォーキングの気運が盛り上がっている現在の状況を、今後、どのように生かすのか。
			2 学校の大規模改修について 現在、本市の小中学校の大規模改修において、開成中学校、陽明中学校、下庄小学校は校舎と体育館の工事が行われ、本年度は有終南小学校、富田小学校の実施設計が行われる。 令和4年度の実施設計の契約額は、開成中学校が6,820万円、陽明中学校が6,050万円、下庄小学校は2,915万円であった。実施設計の段階で、発注者である本市と設計者である事業者の両者に、工事費に対する高いコスト意識が大切であり、それが不足していると工事費が予算内に収まらない事態に陥る。先日、現段階で開成中学校と陽明中学校の工事費が予算内に収まらない事態が生じていると、教育委員会から報告があった。 そこで、次の点について質問をする。 ○ 開成中学校と陽明中学校、それぞれの工事費と不足額について説明を求める。 ○ 工事費の予算の不足が生じた原因は何か。今後、このようなことが起きないようにする対策はどのようにするのか。

令和6年6月 第439回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／4日（火）	岸本（大野市民の会）	一問一答方式	1 奥越ふれあい公園の施設について 奥越ふれあい公園の管理は、利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な維持管理に努めることを目的に、福井県指定管理者制度基本条例に基づき公園管理の基本協定書を締結し、大野市が継続して指定管理者として委託されている施設だと理解している。また施設の老朽化も進んでいることから、福井県への要望事項も踏まえて質問する。 ○ 子供の森遊具の破損により、現在2遊具が使用禁止になっているが現状を伺う。 ○ 県に対し破損遊具の修繕依頼をしたのか。また改修は緊急を要するものと考えてるが、補正予算等での対応ができないのか伺う。 ○ 令和5年9月定例会一般質問にて、利用が少ないゲートボール場、管理に手間が掛かる競技場内芝生を人工芝化など、必要な施設整備を県へ引き続き要望していくとの回答をいただいたが、その進捗（しんちょく）を伺う。
			2 大野ならではの公民館の活かし方検討について 令和6年6月第439回定例会一般会計補正予算において、「人がつながる場所づくり」として、大野ならではの公民館の活かし方を検討する費用155万1,000円が計上されているが、具体的な内容について質問する。 ○ 市内公民館ごとの利用人数を伺う。 ○ 本市が目指す公民館の在り方について伺う。 ○ 「人がつながる場所づくり」の具体的な内容について伺う。

令和6年6月 第439回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質 問 概 要
一般質問 (第2日)／4日(火)	笹山(大野市民の会)	一括質問・答弁方式	1 文化会館あり方検討委員会について 昨年8月から始まった大野市文化会館あり方検討委員会だが、これまで委員会が3回開催され、本年度は残り2回の開催を予定している。本市の文化振興の拠点として、私にとっても成人式や青年団活動などで利用した思い出深い建物である。 令和8年6月には耐震性の問題により休館になる。文化活動団体からも「文化会館は必要だ」などの声が多くあり、行く末が注目されているが、以下について質問する。 ○ 過去3回のあり方検討委員会で、委員からはどのような意見が出ているか。また、会議中の委員の雰囲気はどうか伺う。

令和6年6月 第439回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／4日（火）	林（市議会）	一括質問・答弁方式	1 大野らしい魅力ある学校づくりに向けて 本年4月に中学校が2校に再編され、令和8年4月には小学校の再編も控えているが、再編がゴールではない。現在、校舎改修工事や改修に向けた実施設計が進められているが、保護者や児童・生徒にとって満足度の高い学校運営を行うためのハード整備でなければならない、現場の声をしっかり反映させるとともに、市教育委員会だけではなく市長部局のこれまで以上の連携による重点的な支援が欠かせない。 将来を担う児童・生徒は宝であり、昨年「こどもまんなか応援サポーター」を宣言した本市として、子育て世代が安心して通わせることができる大野らしい魅力ある学校づくりに、行政も教職員も地域も一体となって取り組まなければならないことから次の点を質問する。 ○ 有終南小学校では児童の健康増進、地域住民のふれあいの場の創出などを目標して校庭芝生化が事業化されたが、他の学校運営協議会（コミュニティスクール）での検討状況は。 ○ 部活動の設置数と加入の状況、地域クラブへの移行の状況は。 ○ 廃校後の利活用方針は。
			2 市長が目指す持続可能な行政運営とは 本年4月、経済界有志らでつくる民間組織「人口戦略会議」が公表した地方自治体の持続可能性に関する報告書において、福井県内では本市など8市町が将来的に消滅の可能性があるとして発表された。市制施行70周年を迎える中、「いつまでも、ともに」をテーマに官民協働をうたい、100年先も誇れる大野市を目指す上では、自治体を消滅させない持続可能な行政運営が求められることから次の点を質問する。 ○ 消滅可能性自治体に対する市長の受け止めと不安を感じている市民へメッセージを。また、職員に対してどのような指示をしたのか。 ○ 市が活用している寄付金制度（ふるさと納税、企業版ふるさと納税、クラウドファンディングで叶える地域のみらい応援）の実績と狙いは。また、有終南小学校校庭芝生化実行委員会による活用相談を断ったとのことだが、その理由は。 ○ 市の自主財源の一つである使用料等の見直し検討を指示しているが、その概要や想定される規模は。

令和6年6月 第439回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日)／4日(火)	猪嶋 (大野市民の会)	一問一答方式	1 道の駅「越前おおの荒島の郷」と「まちなか」への誘客について
			○ 道の駅「越前おおの荒島の郷」の効果として、「まちなか」への誘客も期待されていたかと思うが、現状はどの程度か。
			2 中部縦貫自動車道を利用した高速バスについて
			○ 令和8年春に予定されている大野・油坂間が全線開通すれば、金沢・名古屋間の高速バスの運行開始が期待されるが、現状の見込みは。 また、運行開始を見越した本市への誘客手法を考えているか。